

令和7年度
シラバス

教科・科目	国語・古典探究	単位数	4
-------	---------	-----	---

学年・クラス	2 学年（必修・ 選択 ）	担当者	木村 日和
使用教科書	『古典探究 古文編』（大修館書店）・『古典探究 漢文編』（大修館書店）		
使用副教材	『これからの古典文法〔改訂版〕』（尚文出版）『漢文必携〔五訂版〕』（桐原書店）		

目 標

言葉による見方・考え方を働かせ、言語活動を通して、国語で的確に理解し効果的に表現する資質・能力を次のとおり育成することを目指す。

- （１）生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、我が国の伝統的な言語文化に対する理解を深めることができるようにする。
- （２）論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、古典などを通した先人のものの見方、感じ方、考え方との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。
- （３）言葉が持つ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって古典に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚を深め、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。

授業の内容・進め方

授業の内容：教科書教材をもとに古典に関する基礎知識と読解能力、および探究意欲の向上を図る。

進め方：教科書教材の読解を中心に言語活動を展開し、単元目標の言語能力の向上を図る。

適宜、課題や班活動に取り組むが、板書を中心に説明の理解に注力する時間もある。

なお、ノートは手書き以外の方法で取っても良いが、ICT機器の不適切な使用は認めない。

考 査：授業内の言語活動等を通して学習した国語力や古典に関する知識の理解度、読解能力の向上を確認する。

例えば、人物像の読解を中心に単元を実施した場合には、課題本文を通して文章に描き出された古典世界の人物像についての的確に読み取ることができるようになっていくかを設問において確認する。

評価規準（観点別達成目標・評価項目）

評価の観点	① 知識・技能	② 思考・判断・表現	③主体的に学習に取り組む態度
観点別達成目標	生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、我が国の伝統的な言語文化に対する理解を深めている。	論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、古典などを通した先人のものの見方、感じ方、考え方との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりしている。	言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって古典に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚を深め、言葉を通して主体的に他者や社会に関わろうとしている。
評価の割合	1	1	1

	評価の観点	①知識・技能	②思考・判断・表現	③主体的に学習に取り組む態度
評価項目	定期考査(年2回：中間考査は単元課題等で代替)	◎	◎	△
	各単元における提出課題	○	◎	◎
	単元テスト等のまとめ課題	◎	◎	△
	授業中の様子	○	○	◎
	長期休業課題	○	○	◎

・観点別評価 3つの 観点別に各評価項目の達成率でA・B・Cを決定する。

A：十分満足できる B：おおむね満足できる C：努力を要する

・評価・評定 観点別評価から総合的に成績（評価・評定）を決定する。

指導計画及び中単元別評価基準

学 期	月	単元	学習内容	評価規準		
				知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に 取り組む態度
前 期	4	漢文の故事や逸話について学ぶ	・ 故事成語の内容を自力で読解し、身の回りの生活に当てはめて解説文を作成する。 ・ 幅の広い知識と真理を求める態度を養う。 ・ 短い文の訓読を通じて、我が国の伝統的な言語文化を尊重する態度を涵養する。	・ 古典に用いられている語句の意味や用法を理解し、古典を読むために必要な語句の量を増すことを通し、語感を磨き、語彙を豊かにしている。 ・ 古典を読むために必要な文語のきまりや、訓読のきまりについて理解を深めている。 ・ 時間経過による言葉の変化や、古典が現代の言葉の成り立ちにもたらした影響について理解を深めている。	・ 文章の種類を踏まえて、構成や展開などを的確に捉えている。 ・ 古典の作品や文章について、内容や解釈を自分の知見と結び付けながら考えを広げたり深めたりしている。	故事成語の内容自体や文化的背景にも興味をもち、学習したことを普段の生活の中にも生かせるように、粘り強く読解に取り組もうとしている。
	5	漢詩を鑑賞する	・ 漢語から緊密に構成された韻文の訓読と、その鑑賞活動を通じ、想像力と豊かな情操を培う。 ・ 漢詩のテーマに触れ、生命を尊び自然を大切にする態度を養う。	・ 古典に用いられている語句の意味や用法を理解し、古典を読むために必要な語句の量を増すことを通し、語感を磨き、語彙を豊かにしている。 ・ 古典の作品や文章の種類とその特徴について理解を深めている。 ・ 古典の作品や文章に表れている言葉の響きやリズム、修辞などの表現の特色について、理解を深めている。	・ 文章の種類を踏まえ、古典特有の表現などに注意しながら、構成や展開などを的確に捉えている。 ・ 必要に応じて書き手の考えや目的、意図を捉えて内容を解釈するとともに、文章の構成や展開、表現の特色について評価している。	漢詩の鑑賞に興味を持ち、作者のものの見方や感じ方について、十分に読み味わうことができるように、粘り強く読解に取り組もうとしている。
		物語に親しむ (宇治拾遺物語)	・ 古文を読むための基礎的な知識を確認し、古典作品の特質を知る。 ・ 物語作品の読解を通じて、古典に関する幅広い知識と教養を身に付けるとともに、読書の幅を広げる態度を養う。	・ 古典に用いられている語句の意味や用法を理解し、古典を読むために必要な語句の量を増すことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。 ・ 先人のものの見方や感じ方、考え方をともに自身の感性を豊かにする読書の意義と効用について理解を深めている。	・ 関心をもった事柄に関連する様々な古典の作品や文章などをもとに、自分自身のものの見方や感じ方、考え方を深めている。 ・ 古典の作品や文章を多面的・多角的な視点から評価することを通じ、我が国の言語文化について自分の考えを広げたり深めたりしている。	古文と現代とのさまざまな文化の繋がりに興味を持ち、登場人物の言動などから多様な価値観を読み取ることができるように、粘り強く読解に取り組もうとしている。
	6	物語を読み味わう (今昔物語)	・ 古文を読むための基礎的な知識を確認し、古典作品の特質を知る。	・ 古典に用いられている語句の意味や用法を理解し、古典を読むために必要な語句の量を増すことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。	・ 関心をもった事柄に関連する様々な古典の作品や文章などをもとに、自分自身のものの見方や感じ方、考え方を深めている。	古文と現代とのさまざまな文化の繋がりに興味を持ち、登場人物の言動などから多様な価値観を読み取ることができるように、粘り強く読解に取り組もうとしている。

7	※同単元の続き	・物語作品の読解を通じて、古典に関する幅広い知識と教養を身に付けるとともに、読書の幅を広げる態度を養う。	・先人のものの見方や感じ方、考え方に親しみ、自分自身のものの見方や感じ方、考え方を豊かにする読書の意義と効用について理解を深めている。	・古典の作品や文章を多面的・多角的な視点から評価することを通じ、我が国の言語文化について自分の考えを広げたり深めたりしている。	
	史伝に親しむ（史記）	・中国の歴史書の表現の特徴、時代背景や地理などの幅広い知識とともに物語文の内容を読解する。 ・歴史上実在する人物の生き方を通じ、主体的に社会の形成に参画し、その発展に寄与する態度を養う。	・古典に用いられている語句の意味や用法を理解し、古典を読むために必要な語句の量を増すことを通し、語感を磨き、語彙を豊かにしている。 ・古典の文の成分の順序や照応、文章の構成や展開の仕方について理解を深めている。 ・古典を読むために必要な文語のきまりや、訓読のきまりについて理解を深めている。	・古典の作品に表れているものの見方や感じ方、考え方を踏まえ、人間、社会、自然などに対する自分の考えを広げたり深めたりしている。 ・関心をもった事柄に関連する様々な古典の作品や文章などをもとに、自分のものの見方や感じ方、考え方を深めている。	・漢文作品の時代背景や登場人物などに興味を持ち、各陣営の戦略や、人物の心情・行動を理解し、読み味わうことのできるよう粘り強く読解に取り組もうとしている。
	随筆に親しむ	・古文を読むための基礎的な知識を確認し、古典作品の特質を知る。 ・随想の読解を通じて古代の人々の豊かな情操に触れることで、自身のものの見方や感じ方、考え方を広げたり深めたりしている。	・古典に用いられている語句の意味や用法を理解し、古典を読むために必要な語句の量を増すことを通し、語感を磨き、語彙を豊かにしている。 ・先人のものの見方や感じ方、考え方をもとに自身の感性を豊かにする読書の意義と効用について理解を深めている。	・必要に応じて書き手の考えや目的、意図を捉えて内容を解釈するとともに、文章の構成や展開、表現の特色について評価している。 ・古典作品や文章などに表れているものの見方や感じ方、考え方を踏まえ、人間、社会、自然などに対する自分の考えを広げたり深めたりしている。	・古典の文章に表れているものの見方や感じ方、考え方をとらえ、作者の価値観について理解することができるように、粘り強く読み味わおうとしている。
	随筆を読み味わう	・古文を読むための基礎的な知識を確認し、古典作品の特質を知る。 ・随想の読解を通じて古代の人々の豊かな情操に触れることで、自身のものの見方や感じ方、考え方を広げたり深めたりしている。	・古典に用いられている語句の意味や用法を理解し、古典を読むために必要な語句の量を増すことを通し、語感を磨き、語彙を豊かにしている。 ・先人のものの見方や感じ方、考え方をもとに自身の感性を豊かにする読書の意義と効用について理解を深めている。	・必要に応じて書き手の考えや目的、意図を捉えて内容を解釈するとともに、文章の構成や展開、表現の特色について評価している。 ・古典作品や文章などに表れているものの見方や感じ方、考え方を踏まえ、人間、社会、自然などに対する自分の考えを広げたり深めたりしている。	・古典の文章に表れているものの見方や感じ方、考え方をとらえ、作者の価値観について理解することができるように、粘り強く読み味わおうとしている。
	前期期末考査（単元テストや単元課題で扱わなかった範囲を中心に実施予定。）				
	物語を読み解く	・古文を読むための基礎的な知識を確認し、古典作品の特質を知る。	・古典に用いられている語句の意味や用法を理解し、古典を読むために必要な語句の量を増すことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。	・関心をもった事柄に関連する様々な古典の作品や文章などをもとに、自分自身のものの見方や感じ方、考え方を深めている。	・古文と現代とのさまざまな文化の繋がりに興味を持ち、登場人物の言動などから多様な価値観を読み取ることができるように、粘り強く読解に取り組もうとしている。

		※同単元の続き	・物語作品の読解を通じて、古典に関する幅広い知識と教養を身に付けるとともに、読書の幅を広げる態度を養う。	・先人のものの見方や感じ方、考え方に親しみ、自分自身のものの見方や感じ方、考え方を豊かにする読書の意義と効用について理解を深めている。	・古典の作品や文章を多面的・多角的な視点から評価することを通じ、我が国の言語文化について自分の考えを広げたり深めたりしている。	
		物語を鑑賞する	・古文を読むための基礎的な知識を確認し、古典作品の特質を知る。 ・物語作品の読解を通じて、古典に関する幅広い知識と教養を身に付けるとともに、読書の幅を広げる態度を養う。	・古典に用いられている語句の意味や用法を理解し、古典を読むために必要な語句の量を増すことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。 ・先人のものの見方や感じ方、考え方に親しみ、自分自身のものの見方や感じ方、考え方を豊かにする読書の意義と効用について理解を深めている。	・関心をもった事柄に関連する様々な古典の作品や文章などをもとに、自分自身のものの見方や感じ方、考え方を深めている。 ・古典の作品や文章を多面的・多角的な視点から評価することを通じ、我が国の言語文化について自分の考えを広げたり深めたりしている。	・古文と現代とのさまざまな文化の繋がりに興味を持ち、登場人物の言動などから多様な価値観を読み取ることができるように、粘り強く読解に取り組もうとしている。
後期	10	漢文物語に親しむ <u>※防災週間の実施に伴って関連する単元の内容となるよう、漢文作品等から災害について考えたり、クラスで話し合ったりする時間を設ける。</u>	・古文を読むための基礎的な知識を確認し、古典作品の特質を知る。 ・物語作品の読解を通じて、古典に関する幅広い知識と教養を身に付けるとともに、読書の幅を広げる態度を養う。	・古典に用いられている語句の意味や用法を理解し、古典を読むために必要な語句の量を増すことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。 ・先人のものの見方や感じ方、考え方に親しみ、自分自身のものの見方や感じ方、考え方を豊かにする読書の意義と効用について理解を深めている。	・関心をもった事柄に関連する様々な古典の作品や文章などをもとに、自分自身のものの見方や感じ方、考え方を深めている。 ・古典の作品や文章を多面的・多角的な視点から評価することを通じ、我が国の言語文化について自分の考えを広げたり深めたりしている。	・古文と現代とのさまざまな文化の繋がりに興味を持ち、登場人物の言動などから多様な価値観を読み取ることができるように、粘り強く読解に取り組もうとしている。
		随筆から読み解く	・古文を読むための基礎的な知識を確認し、古典作品の特質を知る。 ・随想の読解を通じて古代の人々の豊かな情操に触れることで、自身のものの見方や感じ方、考え方を広げたり深めたりしている。	・古典に用いられている語句の意味や用法を理解し、古典を読むために必要な語句の量を増すことを通し、語感を磨き、語彙を豊かにしている。 ・先人のものの見方や感じ方、考え方をもとに自身の感性を豊かにする読書の意義と効用について理解を深めている。	・必要に応じて書き手の考えや目的、意図を捉えて内容を解釈するとともに、文章の構成や展開、表現の特色について評価している。 ・古典作品や文章などに表れているものの見方や感じ方、考え方を踏まえ、人間、社会、自然などに対する自分の考えを広げたり深めたりしている。	・古典の文章に表れているものの見方や感じ方、考え方をとらえ、作者の価値観について理解することができるよう、粘り強く読み味わおうとしている。
	11	思想に触れる	・漢文を読むための基礎的な知識を確認し、古典作品の特質を知る。 ・思想の読解を通じて古人の豊かな情操に触れることで、自身のものの見方や感じ方、考え方を広げたり深めたりしている。	・先人のものの見方や感じ方、考え方をもとに自身の感性を豊かにする読書の意義と効用について理解を深めている。	・古典作品や文章などに表れているものの見方や感じ方、考え方を踏まえ、人間、社会、自然などに対する自分の考えを広げたり深めたりしている。	・古典の文章に表れているものの見方や感じ方、考え方をとらえ、作者の価値観について理解することができるよう、粘り強く読み味わおうとしている。

		漢詩を読み味わう	・漢語から緊密に構成された韻文の訓読と、その鑑賞活動を通じ、想像力と豊かな情操を培う。 ・漢詩のテーマに触れ、生命を尊び自然を大切にする態度を養う。	・古典に用いられている語句の意味や用法を理解し、古典を読むために必要な語句の量を増すことを通し、語感を磨き、語彙を豊かにしている。 ・古典の作品や文章の種類とその特徴について理解を深めている。 ・古典の作品や文章に表れている言葉の響きやリズム、修辞などの表現の特色について、理解を深めている。	・文章の種類を踏まえ、古典特有の表現などに注意しながら、構成や展開などを的確に捉えている。 ・必要に応じて書き手の考えや目的、意図を捉えて内容を解釈するとともに、文章の構成や展開、表現の特色について評価している。	漢詩の鑑賞に興味を持ち、作者のものの見方や感じ方について、十分に読み味わうことができるように、粘り強く読解に取り組もうとしている。
12		物語と漢詩を読み比べる	・漢語から緊密に構成された韻文の訓読と、その鑑賞活動を通じ、想像力と豊かな情操を培う。 ・古文を読むための基礎的な知識を確認し、古典作品の特質を知る。 ・物語作品の読解を通じて、古典に関する幅広い知識と教養を身に付けるとともに、読書の幅を広げる態度を養う。	・古典に用いられている語句の意味や用法を理解し、古典を読むために必要な語句の量を増すことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。 ・古典の作品や文章に表れている言葉の響きやリズム、修辞などの表現の特色について、理解を深めている。 ・先人のものの見方や感じ方、考え方に親しみ、自分自身のものの見方や感じ方、考え方を豊かにする読書の意義と効用について理解を深めている。	・必要に応じて書き手の考えや目的、意図を捉えて内容を解釈するとともに、文章の構成や展開、表現の特色について評価している。 ・関心をもった事柄に関連する様々な古典の作品や文章などをもとに、自分自身のものの見方や感じ方、考え方を深めている。 ・古典の作品や文章を多面的・多角的な視点から評価することを通じ、我が国の言語文化について自分の考えを広げたり深めたりしている。	・漢詩の鑑賞に興味を持ち、作者のものの見方や感じ方について、十分に読み味わうことができるように、粘り強く読解に取り組もうとしている。 ・古文と現代とのさまざまな文化の繋がりに興味を持ち、登場人物の言動などから多様な価値観を読み取ることができるように、粘り強く読解に取り組もうとしている。
1		日記に親しむ	・日記の読解を通じて古人の豊かな情操に触れることで、自身のものの見方や感じ方、考え方を広げたり深めたりしている。	先人のものの見方や感じ方、考え方をもとに自身の感性を豊かにする読書の意義と効用について理解を深めている。	古典作品や文章などに表れているものの見方や感じ方、考え方を踏まえ、人間、社会、自然などに対する自分の考えを広げたり深めたりしている。	古典の文章に表れているものの見方や感じ方、考え方をとらえ、作者の価値観について理解することができるように、粘り強く読み味わおうとしている。
2		物語を読み解く	・古文を読むための基礎的な知識を確認し、古典作品の特質を知る。 ・物語作品の読解を通じて、古典に関する幅広い知識と教養を身に付けるとともに、読書の幅を広げる態度を養う。	・古典に用いられている語句の意味や用法を理解し、古典を読むために必要な語句の量を増すことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。 ・先人のものの見方や感じ方、考え方に親しみ、自分自身のものの見方や感じ方、考え方を豊かにする読書の意義と効用について理解を深めている。	・関心をもった事柄に関連する様々な古典の作品や文章などをもとに、自分自身のものの見方や感じ方、考え方を深めている。 ・古典の作品や文章を多面的・多角的な視点から評価することを通じ、我が国の言語文化について自分の考えを広げたり深めたりしている。	・古文と現代とのさまざまな文化の繋がりに興味を持ち、登場人物の言動などから多様な価値観を読み取ることができるように、粘り強く読解に取り組もうとしている。
		後期期末考査（単元テストや単元課題で扱わなかった範囲を中心に実施予定。）				

3	和歌に触れ、読み 味わう	・古文を読むための基礎的な知識を確認し、古典作品の特質を知る。 ・和歌の鑑賞を通じて古代の人々の豊かな情操に触れることで、自身のものの見方や感じ方、考え方を広げたり深めたりしている。	先人のものの見方や感じ方、考え方をもとに自身の感性を豊かにする読書の意義と効用について理解を深めている。	古典作品や文章などに表れているものの見方や感じ方、考え方を踏まえ、人間、社会、自然などに対する自分の考えを広げたり深めたりしている。	古典の文章に表れているものの見方や感じ方、考え方をとらえ、作者の価値観について理解することができるように、粘り強く読み味わおうとしている。
	日記から学ぶ	・古文を読むための基礎的な知識を確認し、古典作品の特質を知る。 ・日記の読解を通じて古代の人々の豊かな情操に触れることで、自身のものの見方や感じ方、考え方を広げたり深めたりしている。	先人のものの見方や感じ方、考え方をもとに自身の感性を豊かにする読書の意義と効用について理解を深めている。	古典作品や文章などに表れているものの見方や感じ方、考え方を踏まえ、人間、社会、自然などに対する自分の考えを広げたり深めたりしている。	古典の文章に表れているものの見方や感じ方、考え方をとらえ、作者の価値観について理解することができるように、粘り強く読み味わおうとしている。